

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイトに記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	桂 直紀	学年(渡航時)	4年
派遣先大学	北アリゾナ大学		
国・地域	アメリカ合衆国 アリゾナ州		
派遣期間	2024 年 8 月 ~	2024 年 12 月	

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Communication analysis	様々なコミュニケーションにおける理論や生活の中になじんでいるコミュニケーション媒体について学ぶ。円滑なコミュニケーションを行うために私たちが使っている理論について学ぶ。
Western art since 1400	1400 年以降の西洋絵画の歴史やスタイルについて学ぶ。
Introduction to the art of Asia	古代からのアジアの芸術作品について学ぶ。芸術スタイルや歴史について学ぶ。
Introduction to education	アメリカの教育についての基礎や導入について学ぶ。先住民教育や多様性教育について学ぶ。

留学レポート(1,500 字以上)

今回の1学期間の留学を通して一番印象に残っていることはルームメイトとの寮生活です。わたしが生活していた寮は留学生が集まる寮でした。私のルームメイトは3人いてそれぞれが異なる国からの留学生でした。3人はそれぞれ、ドイツ、アイルランド、ドバイ出身の人たちでした。彼らの出身を聞いたときは全員が異なる国出身ということでわくわくしていました。実際にこの1学期間を通して3人の国の文化などについてお互いに話し、知る機会もあり、新しい発見もありました。しかし、寮生活が一番印象に残っている理由はこれではなく、文化の違いや習慣の違いを感じ、葛藤することが多かったからです。留学に行く前から留学説明会などで日本で当たり前であると考えていることも他の国の人たちからすると当たり前ではないということが多くあると言われていたので、ある程度は覚悟していました。しかし、実際に異なる国の人たちと過ごしてみると自分が想像していたよりもずっと難しいものでした。初めの2週間程度はあまりストレスなく過ごせていました。しかし、徐々に彼らの生活スタイルに疑問を持ったり理解できない部分が出てきたりしてきました。わたしはルームメイトとの関係性を考え、初めは自分が我慢すればいいと考えていました。しかし、別の部屋に住む日本人の留学生に相談すると、その日本人の留学生は何か言いたいことがあるときはルームメイト全員で集まり、話し合いをしていると聞き、わたしもルームメイト全員で話す機会を作りました。話し合いをする前はもしかしたらこれが理由で仲が悪くなるかもと考えていました。しかし、彼らは私が言ったことに対して文句を言うのではなく受け入れてくれました。また、この話し合いの中でわたしも気づかされる部分が多くありました。その一つは、ストレスを感じているのは自分だけではないということです。他の3人のルームメイトも私と同様に生活スタイルなどでストレスを感じていることや理解できないことがあるということを、この話し合いで言ってくれました。お互いのストレスに感じることをできるだけなくすために生活するうえでのルールなどを決めることができ、お互いが快適に過ごせる体制をつくることができました。この話し合いで仲が悪くなるのではなく、むしろわたしたちはよりお互いのことを理解し、仲良くなることができました。この後も何か一人でも不満があるときは話し合いをして解決するようにしました。話し合いをすることをすすめてくれた友だちとルームメイトには感謝しています。

上記以外で印象に残っていることは、高校の時のホストファミリーに会いに行ったことです。わたしは高校の時に2週間ほどサンディエゴでホームステイをしていました。せっかくの機会だったので11月末のサンクスギビングの祝日にホストファミリーを訪れました。わたしにとってサンクスギビングというものが初めてのイベントだったので、ホ

ストファミリーと過ごすことで実際にサンクスギビングの過ごし方を体験することができる貴重な機会になりました。サンクスギビングで印象に残っていることは、夜ご飯でターキーが出てきたことです。映画や写真などでは見たことがあったものの、実際に間近で見て、食べることはなかったので出てきたときはとてもわくわくしました。

最後に、この留学全体を通して感じたことは、実際に現地に行ったり、他の国の人たちと関わったりすることは人生経験として大切であるということです。授業や様々な場所で、文化の違いやそれを乗り越えることの難しさを耳にします。しかし実際に何が難しいのか、なぜ難しいのかを聞くだけは分かりません。わたしも留学行く前は、何となく難しいだろうなと考えていただけで、何とかなるだろうと考えていました。しかし、実際に現地で過ごしてみると日本では考えられないことや理解できないことをたくさん経験しました。また、他の国の人たちも日本人の生活スタイルや文化に対して疑問に思ったり理解できなかったりすることがあるということも学ぶことができました。授業では学ぶことができない「なぜ」や「なにが」について実際に現地に行き、知ることができました。また、日本が自分にとっていい国であるということを再認識することができました。留学期間の間つらいことや困難なことなど、たくさんありましたが人生経験として自分の人生の糧にすることができました。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



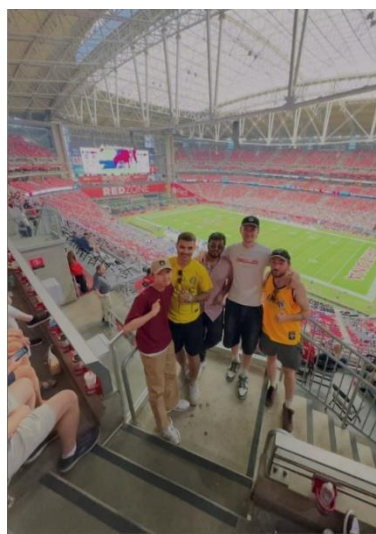
ルームメイトとバーに行った時の写真



ホストマザーとその友達とアメフトを見に行った時の写真



ブラックフライデーの時の写真



ルームメイトと友達とアメフトを見に行った時の写真



サンクスギビングの時に出来たターキー